

2月定例会(2月25日) 議案質疑 みつなか美由紀議員

プレミアム付き商品券 来年度は「電子版」のみ  
これまで通り「紙」でも発行を

2月25日の本会議で、みつなか美由紀議員(緑区)が2月補正予算に盛り込まれたプレミアム付き商品券の発行について、質疑しました。

市が来年度発行する予定の同商品券は、これまで行ってきた「紙」との併用をやめ、電子版のみ発行する予定です(下の棒グラフ参照)。

みつなか議員は、「”スマホを持っていないければ、申し込むことすらできないのか?”などの声が寄せられている。なぜ電子版のみなのか」と追及。

経済局長は「速やかな実施や事務コスト削減のため」などと説明しました。

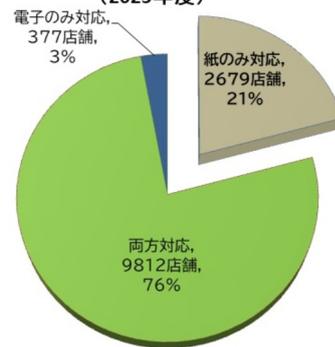
これに対し、みつなか議員は、「紙の商品券でも、工夫次第で時間は短縮できる」と主張。「電子版だけでは、スマホを持っていない人や操作に不慣れな人が排除される。紙の商品券しか対応で

きない店舗も排除されてしまう(下の円グラフ参照)。全市民が対象の施策である以上、『紙』も発行すべきだ」と求めました。

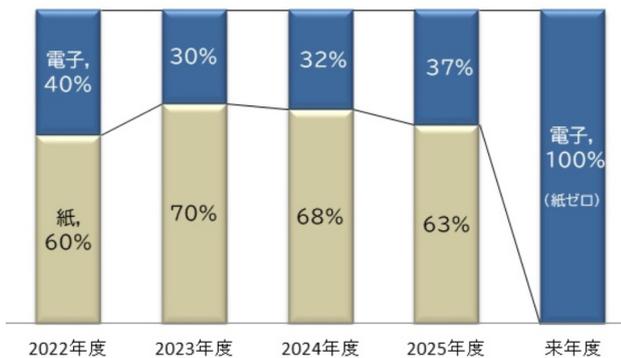
同商品券は一口1300円分を千円で販売。従来の抽選方式から、申込者全員が一口以上購入できるようになります(一人が購入できるのは50口まで)。利用開始は今年8月下旬を予定。



プレミアム付き商品券  
発行種類別の対応店舗数の割合  
(2025年度)



プレミアム付き商品券  
発行種類別の割合の推移



スマホ操作に不慣れな人のために  
「支援窓口を設置する」(局長)

みつなか議員の質問に対し経済局長は「スマートフォンの扱いが不慣れな人に支援窓口の設置するなど、丁寧に対応する」と答弁しました。

アジア・アジパラ競技大会  
業務委託先 GLイベント社

万博下請け代金未払いで係争中

補正予算にはアジア・アジパラ競技大会の予算も106億5420万円余も計上。このうち、103億3471万円余が、大会組織委員会を通して、業務委託しているGLイベント社に支払われます。

同社は大阪・関西万博の海外パビリオン建設の元請け企業ですが、下請け代金の未払いで訴えられ、現在も係争中です。

みつなか議員は、「同社は”アジア・アジパラ大

会に多額の協賛金を支払ったので資力がない”などとしているが、それは事実なのか」と質問。

総務局長は「現時点で協賛金全額は支払っていないと組織委から聞いている」と答えました。

みつなか議員は「虚偽の説明をするような会社は信用できない。万博の二の舞になるのではないかと非常に危惧している。引き続き委員会審査でただしていきたい」と述べました。